



雲南市議会議員 梶谷よしひら よしひら通信

10号
令和5年3月

令和5年3月議会 一般質問

問1

地元高校への進学支援について

市長は、地元高校の魅力化アップと言っているが、地元高校への志願者数を見て今後、市としてできる対策は何か。

答弁 石飛市長

市内中学から市内高校への進学希望者は60%から65%に伸びている。本市が、幼稚園から高校まで取組んでいる「夢」発見プログラムによるキャリア教育の成果とされている。さらに高校の魅力化を向上し、市内外から選んでもらえる学校となるよう学校と意見交換し、各学校ごとの特徴である学業・部活双方の分野で魅力化アップを進め、寮や下宿等の充実を検討して行きたい。

答弁 景山教育長

市が中学校に配置する教育コーディネーターの活動時間短縮が高校との連携低下に繋がっているのではないかと。

コーディネーターの活動時間は減らしたが、高校との繋がる時間は減らしていない。雲南市は、「夢」発見プログラムにより幼稚園・保育園・小学校・中学校、そして高校まで一貫したキャリア教育を実施している。そのことから実業系は別として普通科・総合学科については、市内中学から地元高校へ進んでもらいたい気持ちは強い。

問2

子育て支援について

保育園・幼稚園等への入園について伺う。サラリーマン家庭と自営業者の乳幼児では、入園条件に差はあるのか。

答弁 渡部子供政策局長

入園審査は、保護者が申請する勤務時間に基づき審査しており、サラリーマンや自営業者等の職業は関係ない。業種に関係なく、保護者が保育時間が取れない場合、延長保育も利用できる。

雲南市での無園児童数とその理由（虐待・希望施設が無い・お金がない）は調査しているか。

答弁 渡部子供政策局長

令和4年4月現在で182名であったが順次入園され3月時点で70名。理由は調査していない。

奨学金制度について伺う。中学卒業後の進学支援制度は有るのか。返済免除支援をどう考えるか。

答弁 西村政策企画部長

雲南市独自で中学校卒業後の進学支援制度はないが、現在、加茂町独自の制度はある。奨学金制度は、国県等の制度があるのでそれを活用頂きたい。

問3

産業振興について

市内中堅企業と小規模企業の求人支援について伺う。市内中堅企業と小規模企業の求人支援の違いはあるか。

答弁 森山産業観光部長

中堅・小規模企業に隔たり無く人材確保支援は行っているが、出来れば中堅企業の求人支援はUIターン者を中心に紹介する。市内高校生による市内企業の見学会も実施している。

市内企業の新たな求人支援策として福利厚生事業の支援について

答弁 森山産業観光部長

多くの福利厚生制度が網羅されている勤労者共済会事業は、市内企業がこれを活用することは有利と思う。雲南市も共済会の理事としてこの勤労者共済会事業を市内企業に広めたい。

プレミアムこっこころカンパニーの支援について。

答弁 石飛市長

島根県では、仕事と子育ての両立が図られる職場環境づくりに勤めている企業として、こっこころカンパニー企業を認定している。通算3回認定企業を殿堂

奨学金返済免除制度も考えていない。

問4

高齢者の交通支援について

免許を持たない者のへ交通費支援について。

答弁 狩野健康福祉部長

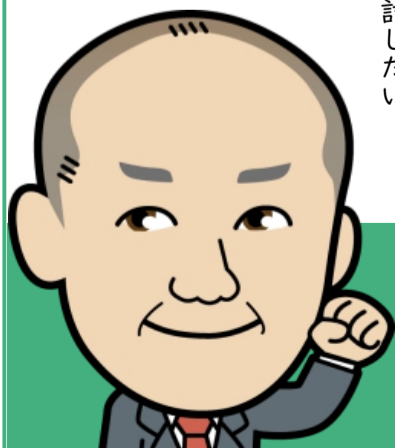
免許の無い高齢者・障がい者等の外出支援として、バス・タクシー利用助成として優待乗車（券額面3万6千円）が1万8千円で購入できる。1乗車当たり利用限度額1,500円を令和5年度から2,500円に増額し、有効期限も販売後、最大4年間利用可能とした。

だんだんタクシーは町をまたげないが、その対応策について。

答弁 西村政策企画部長

運行エリアの拡大については、市民からも要望が有る。タクシー業への圧迫も懸念されることから慎重に検討したい。

裏面も是非御覧ください

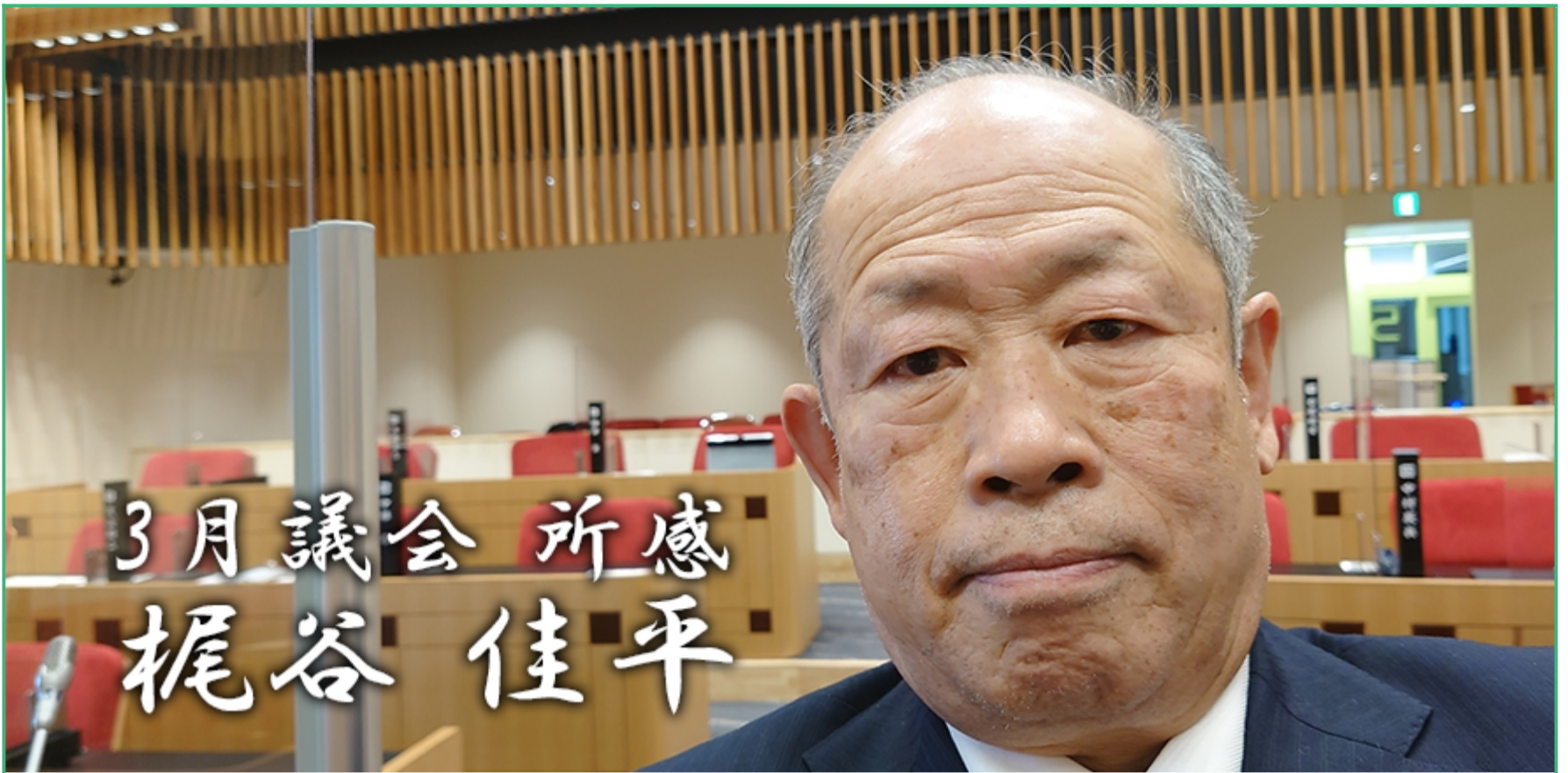


<https://kajitani.site>

梶谷よしひら後援会事務所
発行責任者 梶谷佳平

〒699-1113 雲南市加茂町東谷 1313
電話・FAX 0854-49-6399





3月議会所感 梶谷佳平

市長は、令和5年度の雲南市政運営における基本的な考えとして、

- ①人口減少対策の取組
- ②地域や行政のデジタル化
- ③令和3年7月豪雨災害対策
- ④木次線の利用促進と木次線を活用した広域観光
- ⑤価格高騰対策
- ⑥脱炭素社会実現に向けた取り組み

という6点を重要視していくという所信表明がありました。

国政では現在の出生率を鑑みて、全国一律で“異次元の少子化対策・子育て支援”を実施しようとしています。この政策自体は良い政策ではありますが、反面今まで雲南市が行って来た“手厚い子育て支援”がかすんでしまい、市外からの参入者が減少するのではないか？という懸念もあります。

従って、今回の議会では子育て世帯に地元へと留まっていただく事、市外から来ていただく事への市の考え方として①地元高校入学志願者減少対策、②幼稚園等への入園条件緩和や奨学金制度、③市内企業の求人支援についての3点を質問しました。

更に、今お住まいの高齢者の声として、高齢者の通院等の支援についても質問しましたので、表面の3月議会一般質問答弁をご覧ください。



私の議員活動について「よしひら通信」でお伝え出来なかった案件は、ホームページに掲載しております。また、私の身近な話題は、フェイスブックでお知らせしていますのでこちらもご覧ください。

